

# 会員ニュース

発行責任者

広報委員会



東日本大震災により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。また原子力発電所の事故によって避難・屋内退避を余儀なくされている皆様が一刻も早く元の生活に戻れますようお願い申し上げます。

北関東地区本部長 生天目輝風ト

筑波山 本間憲一郎ト

馬耳山頭 亭上松ト

暁風坐渡 瑞雲濃ト

思嘗討幕 攘夷旗ト

仰見無音 護国峰ト

通釈・馬の耳のような峰を持つ山頂の亭の傍らには見事な枝振りの松が茂っている。また辺りを爽やかな朝風が吹き渡り、空には目出度い雲が浮かんでいる。懐古すれば、幕末において尊皇攘夷の旗揚げをしたのがこの山であり、無言で国を守ってきた筑波山の峰を仰ぎ見て、感慨無量である。ト

筑波山の絶頂に登る 安積 信ト

突兀奇峰 雲外浮ト

天風吹上 絶巔秋ト

山河歴歴 双鞋下ト

但恐一呼 驚八州ト

通釈・高く突き出た奇峰は雲の上に浮かび、空を吹く風は私を、高く聳えた秋景色の山頂に吹き上げた。山河は草鞋の下に、ありありと展開し、その雄大な眺めに豪壮な気分になり、ただ、ひとたび大声で叫べば、関八州を驚かすことを恐れて、声を飛ばしなかつた。ト



# 平成23年度ヴォックス音楽吟詠会 全国吟詠コンクール決勝大会



生天目輝風先生の先導による会詩大会吟

## ヴォックス全国選抜選手が 気迫の吟詠を披露

名古屋市教育センターホール



九月二十五日、ヴォックス音楽吟詠会の第三十七  
二回全国決勝大会が名古屋市教育センターホール  
で開催されました。大会数日前には今年十五回目  
の台風が近畿東海を通過し東京にも甚大な被害を  
もたらし、大会会場の名古屋市も百万人を越す規  
模の避難命令が発令されたほどでしたが、幸いに  
大会会場は大きな被害も無く、台風一過、秋気を  
覚える晴天の中、盛大に開催されました。

開会式は大会委員長(総本部事務総長)―草薙典龍  
先生の開会のことばに始まり、国歌斉唱・会詩大  
合吟、続いて審査要綱の説明・審査委員長(総本部  
会長)―岩淵公胤先生はじめ審査員八名が紹介さ  
れ、おわりに昨年度文部科学大臣賞の中部地区―  
井口隆子さんよりトロフィーが返還され代わりにも  
総本部長よりレプリカが贈呈されました。

コンクールは、第四部(実年の部・六十一歳か  
ら七十歳まで)から始まり第一部・第二部の六十  
三番まで進み、そこで第一部の結果発表及び表彰  
があり、昼食休憩の後、第五部(高年の部・七十  
一歳以上)・第三部(壮年の部・四十一歳から六十  
歳まで)・最後に第六部(合吟の部)まで、選手全  
員真剣かつ闘志を胸に秘めながらも、進行は万端  
順調に行なわれて終了し、熱気のもった雰囲気  
の中に前年度優勝者吟詠と続いて、会長・審査委  
員長挨拶・大会委員長による講評のあと各部門の  
審査結果発表・今年度の文部科学大臣賞表彰があ  
って無事幕が下されました。



初秋の爽やかな好時節、今年もヴォックス音楽吟詠会「第三十二回全国吟詠コンクール決勝大会」が中部地区本部長、草薙典龍先生を始め皆様の献身的なご尽力により開催されました事は誠に喜ばしく、意義のあることです。これ偏にヴォックスを愛する全国各地の本部長始め、会員の皆様の熱意を、この吟詠剣舞、詩舞を継続し、絶やすことのないようにという心意気のお蔭です。全国会員のご支援とご協力に改めて感謝を申し上げます。亦役員を始めスタッフの皆様、そして人の見えない所でご尽力を賜っておられる人が沢山います。更に「自家薬籠中の物」である、各地区事務局長の存在も忘れてはなりません。重ねて感謝を申し上げます。

ヴォックス音楽吟詠会は、他の団体に無い「何でも伝える・伝いあえる」団体です。その事によって誤解が解け、思い込みが無くなり和やかな会になっていくのだと思います。人様に感謝！人様の御蔭！この事を忘れることなく、吟剣詩舞を通してこの乱れた世の中を少しでも浄化出来ればと願っております。一緒に頑張ってくださいませ！。今年「は兎年、『兎の登り坂』、後足の長い兎が巧に坂を登ることから、最も得意分野で力を発揮することの喩えだそうです。お互いに飛躍の年にしましょう。いつまでもヴォックス音楽吟詠会は、お互いの良いところを認め合い、感謝と思いやりのある『心豊かな』会であると信じたいです。決勝大会にご出場の皆様には、日頃の成果を大いに発揮し、更なるご精進を期待します。只、今会残念な事は、東京の不参加というところが惜しまれます。来年の復帰を願っています。

最後になりましたが、未曾有の東日本大震災の被害に遭われた皆様、そして関係者の一日も早い復興をお祈り申し上げますと共にヴォックス音楽吟詠会は、被害者の皆様が少しでもこの吟剣詩舞を通して元気になるよう、全国会員一同の決意で大会を開催しました事をご理解戴き、ご挨拶とさせていただきます。

このたびの未曾有の東日本大震災と原発で被害に遭われました皆様に対して心よりお見舞い申し上げます。またお亡くなりになられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。特に被害甚大で北関東地区本部長と新しく東京一府中でのコンクール開催をやむなく見送られました関係各位の一日も早い復興を願って止みません。総本部として北関東地区本部へ些少のお見舞金を贈らせて頂きましたが、開催地としてお力添えが出来ませんことを申し訳なく思っております。

ときに、故南雲前会長の右腕として活躍されました名誉会長（前事務総長）の清水源翁先生の奥様―鈴峰先生が先頃他界され、続いて五月には清水源翁先生が享年八十七歳をもってご逝去されました。真に断腸の思いで御座います。清水先生の往時を偲びつつ、感慨深いものがこみ上げて参ります。

本年は悲運の多い年となりましたが、詩吟で活力を生み出して邁進したいとの願いから、予定通り「全国決勝大会」を開催させて頂きます。なお、大会は『がんばれ東北・ともに進もう日本』の復興の誓いを掲げ、被災地復興にも心を繋ぎ、参加者全員で大会を盛り上げて行きたいと思えます。

◇本大会には、名古屋市長 河村たかし様より「お祝いのごとば」を賜りました。ヴォックス音楽吟詠会には、名古屋市の文化振興の一端を担っていただいているとのお言葉と同時に、名古屋市として「文化共創のまち名古屋」を目指して文化芸能を培ってゆきたいとのことでした。

七  
七  
七  
七  
七



# 平成23年度（第2回）定時総会



開会にあたって会詩朗詠



平成二十三年三月十一日（金）ヴォックス音楽吟詠会・第二回定時総会が大阪市中央区道頓堀―道頓堀ホテルにおいて開催されました。会長挨拶の後、平成二十二年度事業報告・同会計報告・二十三年度予算案・同事業計画など肅然と議事が進み、予定通り無事終了しました。この日午後二時四十六分、丁度出席者の全員集合写真を撮っている最中、波をうつような大きな揺れが会場を襲い、大阪では大きいと感じながらも無事治まったと思われましたが、少し後にこれは千年に一度とも言われる大地震であることが分かりました。東北地方一帯の実に日本の半分の地域が被災し、同時に福島原子力発電所の津波被害と爆発事故によって日本は再起できるのかと世界中に発信されました。その後ずっと復旧・復興・原発沈静化の努力が続いています。表紙に記載致しましたが、被災され亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族や被災地の生活の再建に一刻も早く目途がつくようお祈りします。

〔ヴォックス音楽吟詠会総本部―会長・岩淵公胤〕

## 【表紙―筑波山について】

生天目輝風

筑波山は、茨城県南西部、八溝山地南端の山で標高八七六メートル。万葉の昔から詩歌に詠まれた関東の名山です。中腹に筑波神社があり、山頂は男体山・女体山の二峰に分かれており、男体山には伊邪那岐尊、女体山には伊邪那美尊を祭った社があります。また二峰が馬の耳に似ているので馬耳山（ばじさん）と呼ばれ、季節により山全体が紫色に染まるので紫山（しざん）とも呼ばれております。

古歌に『つくばねの峰よりおつる男女の川 恋ぞつもりて 淵となりぬる』と詠まれ、恋の山と言われておりました。

万葉集に『筑波峰にのぼりて燿歌会を為る日に作る歌一首』とある長歌を紹介致します。

鶯の住む 筑波の山の 裳羽服津の その津の辺りに 率いて  
 娘子壮士の 行き集い かごう燿歌に 人妻に 我も交  
 わらん 我妻に 人も言問い この山を うしわく神の昔よ  
 り 禁めぬ行事ぞ 今日のみは めぐしも見ぞ 事も咎むな  
 〔大意〕鶯の住む筑波の山の裳羽服津の その津の辺りに誘い  
 合って、若い男女が行き集まり遊ぶ燿歌で人妻と私も交わ  
 る。私の妻に他人も言い寄れ この山を治める神が昔から禁止  
 しない行事だ 今日だけは可哀想に思わないで下さい 咎め  
 ないでくれるな 語釈・\*燿歌（かがう…乱交する \*裳羽服  
 津（もはきつ…筑波山中の地名）\*率いて（あどもいて…誘い  
 合う\*言問う（ことどう…もの言う）

万葉集巻第十四（東歌）には恋の歌が十数首載っておりますので、興味のある方は是非お読みになって下さい。筑波山近くの土浦市小野には、平安初期の女性歌人―小野小町の墓があります。

以上



第三十二回 全国決勝大会 1~6部



詩吟を稽古中の奥泉さんと師匠の小野里先生

詩吟を始めた時とそのきっかけは、小学校一年生の時、私は人前に出て話すことが苦手でしたので何か始めようと考えていました。その時、お母さんから「詩吟をやってみたら」と勧められ、「一人の為自分の為にもなり、礼儀作法にも良く、成人になった時—やってみて良かったと思うよ」と、そして、お母さんの職場に詩吟を教え、看護師さんとして福祉のために頑張っている先生がいますと聞き、始めました。今は吟剣詩舞と週一回、楽しみにお稽古に頑張っています。今後と将来の夢は、これからも勉強に吟剣詩舞を続けて行きたいと思っています。



第一部 優勝

奥泉結衣 さん

群馬地区本部代表

国壮流 荘孝会

渋川市立古巻小学校五年

師範・小野里荘孝

〔国壮流荘孝会会長〕



全国吟詠コンクール 二部

- 優勝 上田佳苗 (群馬)
- 準優勝 山田眞基子 (中部)
- 三位 脇田彰大 (近畿)
- 入賞 越谷綾乃 (群馬)
- 入賞 山根加奈子 (中部)



全国吟詠コンクール 一部

- 優勝 奥泉結衣 (群馬)
- 第一回は接戦の結果、優勝者に賞状とトロフィー、出場の方々には参加賞が授与されました。
- 準優勝 山口夜梨 (播磨)
- 三位 石川茉紘 (中部)
- 入賞 久保奈穂 (近畿)
- 入賞 江頭明加 (中部)



全国吟詠コンクール 四部



右から  
 優勝 長谷川 悟 (播磨)  
 準優勝 大浦 恒子 (近畿)  
 三位 柴田 一弘 (播磨)  
 四位 伊東 礼子 (信越)  
 五位 青沼 シズ子 (信越)

奨励賞 受賞者(80歳以上)

第五部出場 敬称略

素晴らしい吟詠家に授与

吟詠家の模範です。益々のご

活躍をお祈りします。



右から  
 浅野 八重子  
 若野 忍  
 秋山 好久  
 伊藤 榮二  
 榎本 勲  
 乃皆 さん

全国吟詠コンクール 五部



優勝 村瀬勝二 (信越)  
 準優勝 松下文雄 (播磨)  
 三位 江原耕司 (中部)  
 四位 森 澄子 (中部)  
 五位 永井久恵 (中部)

全国吟詠コンクール 六部



優勝 信越地区代表  
 小林得弘  
 上條正隆  
 木戸邦光  
 高橋教保  
 守澤昭則  
 準優勝 群馬地区代表  
 三位 播磨地区代表



第二部優勝 上田佳苗さん

群馬地区本部代表



全国吟詠コンクール 三部



第三部優勝 磯崎廣子さん

近畿地区本部代表



文部科学大臣賞は、  
第四部 播磨地区本部代表

長谷川 悟さん

最高の賞に輝く



- 優勝 磯崎廣子 (近畿)
- 準優勝 立石京子 (群馬)
- 三位 前田美貴子 (播磨)
- 四位 山根由利子 (中部)
- 五位 矢満田泰子 (信越)

今年度の受賞者に決定し緊張の中にも喜びをかみしめる長谷川 悟さん。おめでとう御座います。

文部科学大臣賞受賞を称える岩淵公胤会長 (右) と嶺本賀求道一播磨地区副本部長 (左)







ヴォックス音楽吟詠会

『第三十二回全国大会』に寄せて

ヴォックス音楽吟詠会コンクール  
「第三十二回全国決勝大会」上位入賞者の皆さん、おめでとございます。

今年度の会場は、総本部も近い熱田神宮近くの「名古屋市教育センター」での大会でした。地方大会から勝ちあがり全国大会へと進んできた皆さん達が、ハイレベルの吟詠を2分間のやり直しのきかない舞台上で吟じ、日頃からの各流派で研鑽を積んだ成果が発揮出来たことは素晴らしいと思います。又、第五部では奨励賞を受賞された皆さんが全員80歳以上と知り、元気あふれる吟詠には心をうたれました。大会最後の入賞者発表前には今回の大会を振り返り、大会会長・大会委員長より講評があり、適切な発音・発声の大切さや母音を大事に吟ずることの大切さで総括されました。

今回は残念ながら成果を出すことが出来なかった皆さんには、講評を参考に研鑽を重ね、来年は更に成果を発揮できる事を期待しています。

吟詠は腹式呼吸による発声です。酸素を多く取り込み新陳代謝を良くし、若さを保つと言われています。日本の伝統芸能である吟詠の素晴らしさを、これからも吟詠を愛する皆さんと一緒に、若い世代に引き継ぎ、広めて行きたいものです。

詩の広場

思平和記念式典

生天目輝風

怨魂未去 八月空

怨魂未だ去らず 八月の空

極悪非道 原爆戎

極悪非道 原爆の戎

広島長崎 市民誓

広島長崎 市民の誓い

世界平和 念願中

世界の平和 念願の中

〔平声上一東 古体詩〕

語釈・\*怨魂―恨みを残して死んだ者の魂。 \*非道―道理や人の守るべき道に外れていること。 \*原爆戎―原子爆弾。

通釈・毎年八月になると、原子爆弾で亡くなった方々の怨念が空に充満しているのを感じる。戦争であっても、原子爆弾の投下は人道に外れた最も憎むべき行為であった。

今年、八月六日には広島、九日には長崎で市民が集い往時を偲び、これまでに亡くなられた方々の御霊を慰め、原爆の無い、世界平和をお祈りして祭典を終了した。



漢詩 決断

信越地区

片倉清風

平成二十三年一月三十一日

心筋更に恐る孟春の交 老徳決然として醫伯に順ふ

狭窄固を刪り冠動甦る 憂懐去って涙胸中を潤す

嘗て患ふ梗塞九年を経 吟友今來情け振振たり

暮に聴く喧嗽たる野鳥の群れ 生を養う吾も亦容に清進すべし

漢詩 孟夏堤塘散策

信越地区

片倉清風

冉冉たる清旭雪嶺を紅に 嶂嶂たる連邦屏の如く耿なり

櫻花過ぎ盡きて老鶯閑なり 遙かに望む常念絶景を誇るを

四體垂んとして衰う喜壽の齡 萬事勞するを嗟すれど心清冷なり

晨行霞彩興に乗ずるに堪えたり 況や苦吟をや幸いにして恙無し

決断―〔語釈〕

心筋―心臓を構成する筋肉。孟春交―一月二月のあはいに。交は、かわりめ。老徳―年をとって衰える。決然―どのようなる事態にならうと恐れない覚悟を決める様子。醫伯―医師の美称。固を刪り―コレステロールで硬くなった動脈の壁を小さなカンナのような装置を冠動脈内に入れけずり取る。振振―情け深く親切な様。喧嗽―やかましく鳴きさわぐ。養生―生命を養う。心身に気をつけて長寿を保つ。精進―力を尽くして道に励む。努力する。

孟夏堤塘散策―〔語釈〕

冉冉―ふたふたと垂れ下がるさま。移り行くさま。清旭―清らかな旭日。

嶂嶂―あきらかなさま。明白なさま。常念―常念岳(山岳)。屏の如く―山脈の峻険にして屹立なる形容。垂んとして―まさにそうなるうとする。勞するを嗟すれど―難儀して嘆かわしいこと。晨行―旭日を受けて歩く。

〔雜記〕(作者)―片倉清風

今年の一月三十一日に心臓の冠動脈にステントして以来恙無く生活しております。早朝、久しぶりに北アルプスの朝焼けを見たくて散策したところ、花も散り尽くした枝の中に、思いがけなく美しい鳴き声で頻りに鶯梭している姿を目の当たりに見ることが出来ました。めったに出会うことの出来ない幸運に恵まれたひと持でした。

古典文学

枕草子

参考文獻 改稿 枕草子通解 転載

昭和三十年十一月発行

著者 金子元臣・橋 宗利 広報委員抜粋

第六段―

大進生昌が家に

(前段)

大進生昌が家に、宮の出させ給ふに、東の

門は四足になして、それより御輿は入らせ給ふ。北の門より、

女房の車ども、陣屋の居ねば入りなむやと思ひて、頭付わろ

き人も、いたくもつくるはず、寄せて下るべきものと思ひあな

づりたるに、檳榔毛の車などは、門小さければ、障りてえ入ら



# お知らせ

平成 24 年度ヴォックス音楽吟詠コンクール

第 33 回全国決勝大会

日時・平成 24 年 10 月 14 日 (日)

会場・篠ノ井市民会館

〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川 280

TEL 026-292-4123

(担当地区……信越地区本部)

## 第 3 回定時総会のご案内

開催・平成 24 年 3 月 8 日 (日) 午後 1 時受付

会場・ニューウエルシティ湯河原

〒413-0001 熱海市泉 107 TEL 0465-63-3721

(担当地区……神奈川県本部)

※アクセス

◇車 東京方面より…東名厚木 IC⇒小田原厚木道路⇒

石橋料金所⇒真鶴道路 (R135) ⇒湯河原

静岡方面より…東名沼津 IC⇒熱函道路⇒熱海⇒湯河原

◇電車 新幹線…小田原駅又は熱海駅下車 (東海道線乗り継ぎ、湯河原下車。)

東海道線…JR湯河原駅下車。2 番のりば奥湯河原行、

不動滝行バス 7 分、理想郷下車徒歩 1 分。

## 平成 24 年度 吟詠コンクール 課題吟

13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

和歌・俳句  
大秋半夜山涼辞春漫山九海  
幽人州夜陣中

※自作を除く※  
楠 公思夜坐す詞世暁述行作行

徳川景山 劉鶴錫 良寛 藤田東湖 李太白 王之渙 吉田松陰 孟浩然 佐久間象山 杜牧 上杉謙信 細川頼之

## ヴォックス音楽吟詠会

### ホームページアドレスご案内

<http://www.vox-ginei.com>

活動記録・組織・記事をご覧頂くことが出来ます。クリックして見て下さい。

### 名誉会長

#### 清水源翁先生ご逝去

本年 (平成 23 年) 5 月にご病気の為ご逝去されました。

享年 87 歳。ヴォックス音楽吟詠会創立以来、前会長一南雲一廣先生を支え、現在の岩淵公胤会長の新体制に移行した後を、力強く見守って下さいました。紙面上お悔やみと感謝の言葉を言い尽くす事が出来ません。衷心よりご冥福をお祈りします。

事務総長 草薙典龍

正会員入会  
植田泉洲  
石田千洲

平成二十三年度  
詩吟楠洲流聖楠会  
国洲流吟道会理事

竜西吟詠会副会長

信越

### 来年度 吟詠コンクール課題吟及び

平成 23 年度 決勝大会優勝者吟詠集

CD 発売 ¥2,500

歌謡吟詠 2 題収録 [南雲一廣遺稿集より]

♪ 近藤 勇 [清水源翁] 故人

♪ 小督の局 [清水鈴峰] 故人

お買い求め・各地区本部事務局へ

### -----先覚者のことば-----

先頃、アメリカでは、アップルの CEO—ジョブズ氏が病気で亡くなりました。「ハングリー精神を持つこと」と「愚かであれ」とのことばが有名です。粘り強く、諦めず、挑戦すること・愚直であれと解釈できます。日本では、100 歳を迎えた日野原博士が、新しく何かやりたいと思う人は若々しいと挨拶されました。博士は、これからの 10 年間で、使命感を持つ医師を養成する学校を日本に立ち上げたいとのことです。

広報部